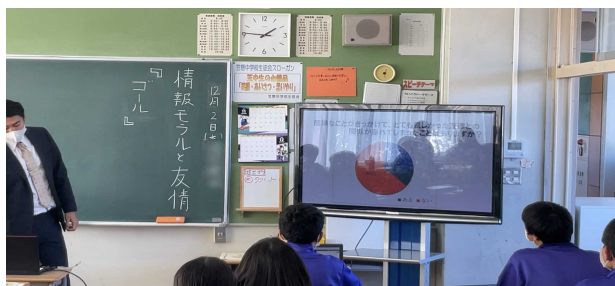


令和3年度 道徳教育総合支援事業 研究発表会 (R3.12.2)

みどり市立笠懸中学校

第2学年 主題名「情報モラルと友情」 B-8 友情、信頼
教材名「ゴール」(出典 新しい道徳 東京書籍)

ねらい 「簡単に友情が崩れないようにするには？」についての話し合いを通して、互いを正しく理解し合うことの大切さに気づき、友情を深めようとする道徳的実践意欲を育てる。



【導入】本時のめあて
「簡単に友情が崩れないようにするためにはどうしたらよいだろう。」

※事前のアンケート結果をもとに全体での対話を通して問題意識を共有する。

・そういえば、すごく仲のよかった友達と話さなくなった時期があったな。

【展開】中心発問
「簡単に友情が崩れないようにするために、この5人それぞれに欠けていたものは何だと思いますか。」

※付箋紙に自分の考えを記入し、対話をしながら台紙に貼っていく。

・リカはみんなに弟のことを伝えるべきだった。
・美希が他のグループを作ったことはキャプテンとしてよくない。



【展開】補助発問
「5人全体として欠けていたものは何でしょう。」

※班ごとの話し合いに教師も介入して対話を深めていく。

・そもそもこのチームに信頼関係がない。もっと仲間のことを知るべきだ。

・練習中からもっと励まし合ったり、忠告し合った方がよい。



【展開】補助発問
「自分が友達として簡単に友情が崩れないようにするためにできることは何でしょう(自分事として考える)。」

※端末に入力された自分の考えや他者の考えを比較検討しながら道徳的価値についての自らの考えを広げ深めていく。

・相手のことを理解する。
・自分のことを知ってもらうこと。



【終末】振り返り
今日の授業を振り返り、友情について考えたことをワークシートに記入する。

※よりよい自己の考えや生き方への思いや願いを深める。

・今まではあまり深い友人関係を築いてこれなかったかもしれない。

・素直に自分の気持ちを伝え合える関係を作りたい。

